

【地方創生の実現・推進に向けて】

① 市民等との連携・協働

- ▶ 地方創生の実現・推進に向けては、地域住民をはじめ、事業者やNPO等を含めた宇治に関わるすべての人々との連携・協働が必要です。
- ▶ 市民協働のまちづくりを推進するため、多様な主体が連携・協働できる地域活動の基盤づくりや担い手づくりを支援するとともに、それぞれの地域における課題解決に向けた取組事例などについて様々な手法を通じて情報共有することで、市民活動のサポートに取り組みます。

② デジタルの力を活用した社会課題解決と魅力向上

- ▶ 国の地方創生2.0の「基本的な考え方」においては「デジタル・新技術の徹底活用」が示されており、本市においても、デジタル技術の活用の観点を取り入れながら、取組の推進を行います。
- ▶ 推進にあたっては、単なるデジタル技術の活用ではなく、利用者となる市民一人ひとりのニーズに合わせたサービスの提供や、行政事務の効率化による市民サービスを含めた自治体としての機能の維持・向上を図るとともに、誰もがデジタル技術の活用による利便性を実感できるよう、デジタルデバインド対策を実施し「人にやさしいデジタル社会の推進」に取り組みます。

③ 持続可能な社会の実現に向けた取組

- ▶ 持続可能な開発目標（SDGs）は、気候変動や格差等の社会が抱える問題に対して、世界全体で解決していくことを目標に持続的な社会を実現するための国際社会共通指標であり、国においては、地域社会がSDGsの達成に取り組むことで地域における課題解決及び持続的な発展を実現し、地方創生につながるものとされています。
- ▶ 本市においても、今後も持続的に発展するまちを目指し、市の課題解決に向けたあらゆる事業の実施にあたってSDGsの観点を踏まえ、取組を推進します。



④ 客観的な効果検証の実施

- ▶ 各基本目標における数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標（KPI）の達成度により、取組の効果を毎年度検証し、国の動向や社会経済情勢の変化、各種計画の更新も踏まえる中で、施策・事業とともに、数値目標やKPIについて見直しを図るなど、PDCAサイクルにより、創生総合戦略の実効性を高めます。
- ▶ 効果検証に際しては、庁内で評価を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、産学官金労言士等の有識者及び市民で構成される「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で検証を行います。

第3期 宇治市人口ビジョン  
 宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
 <概要版>



【宇治市人口ビジョン・創生総合戦略とは】

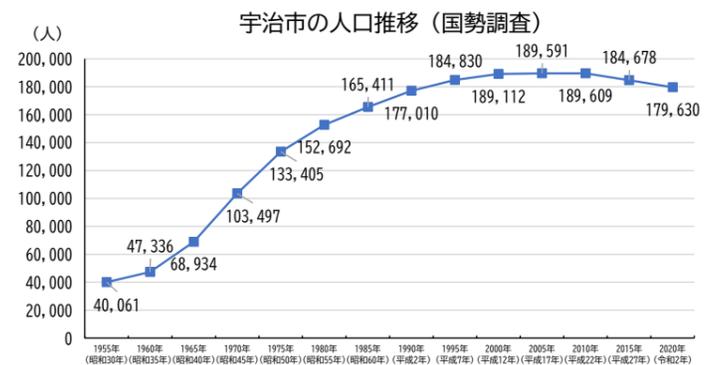
第3期宇治市人口ビジョンは、第1期及び第2期宇治市人口ビジョンの検討を基にしつつ、国の方針を踏まえた推計を行うとともに、人口の維持と持続可能な発展に向けた「まち・ひと・しごと」を創出するための創生総合戦略を策定する上での分析や本市の目標とする人口を定めるものです。

また、第3期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口ビジョンにおいて示した人口の変化による将来への影響、課題を踏まえた上で、人口減少に歯止めをかけ、持続的に発展するまちを目指した目標、基本的方向、具体的な施策等を示しています。

宇治市人口ビジョン

【本市の人口動向】

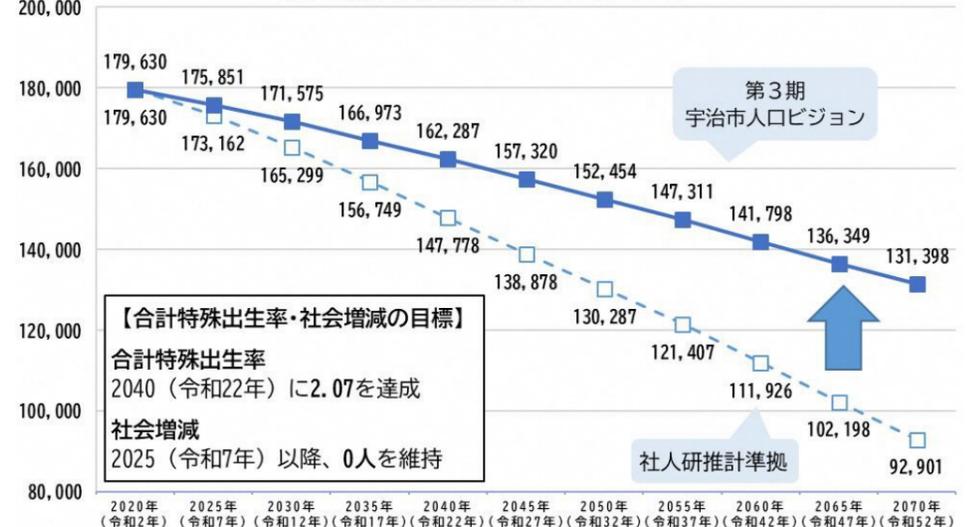
- ▶ 本市の総人口は2010年（平成22年）をピークに減少しており、2020年（令和2年）の人口は17万9,630人となっています。



【人口ビジョンの将来展望】

- ▶ 合計特殊出生率・社会増減の目標を踏まえ、2020年（令和2年）の国勢調査人口を基に推計すると、本市の人口は2060年（令和42年）14万1,798人、2070年（令和52年）に13万1,398人となります。この値を目標人口として、施策を推進していきます。

第3期宇治市人口ビジョン



# 宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## (1) 基本的な考え方

### 【目的】

・人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、本市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指します。

### 【計画期間】

・2025（令和7）年度～2029（令和11）年度

## (2) 地域ビジョンと基本目標

### 【地域ビジョン】

・本総合戦略における地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）として、第6次総合計画に定める「目指す都市像」を位置づけることとします。

一人ひとりが輝き  
伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治

### 【5つの基本目標】

・国の地方創生2.0の「基本的な考え方」を勘案するとともに、地域ビジョンの実現に向け、これまで取り組んできた地方創生の取組状況を踏まえた上で、本市の特色を最大限に活かした要素を盛り込み、次の5つを基本目標とします。

1. 新たな時代の宇治ブランドの向上

2. 希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり

3. 住み続けたい「ふるさと宇治」の創生

4. 活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出

5. 未来を拓く都市基盤の整備

## (3) 基本目標ごとの方向性・具体的な施策

### 基本目標1 『新たな時代の宇治ブランドの向上』

関連するSDGsのゴール



#### 【基本的方向】

- ・POSTコロナ時代においても、「宇治茶」「源氏物語」をはじめとした歴史や文化などの伝統的な観光資源を活用し、宇治ブランドの魅力発信を行うとともに、新たな観光資源の創出や多様な主体との連携による広域的な情報発信・誘客促進に取り組むことで、本市への興味・関心につなげ、観光客をはじめとする交流人口の増加を図ります。
- ・また、実際に本市を訪れるだけでなく、多様な関わり方ができる仕組みを構築し、本市と継続的に関わる関係人口の増加につなげるとともに、宇治に住みたい思いを醸成し、転入者の増加につなげ、人口減少に歯止めをかけることを目指します。

#### 【数値目標】

	基準値	目標値
観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	64.4～94.5% (令和4年度)	85.0～95.0%以上 (令和11年度)
観光客のリピーター割合	59.4% (令和4年度)	70%以上 (令和11年度)

#### 【具体的な施策】

- ①多様な主体と連携した魅力発信 ②豊富な観光資源の魅力の再発見
- ③新たな観光資源の創出 ④観光客の受入環境整備

### 基本目標2 『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』

関連するSDGsのゴール



#### 【基本的方向】

- ・子育て世代の本市への移住・定住につなげていくためには、宇治で結婚・出産・子育てをしたいと思えるイメージの形成とそれらの実現に向けた支援及び環境づくりにより、住みたい、住み続けたいまちになることが必要です。
- ・子育て世代の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられるまちをつくるため、地域で子育てを支える仕組みづくりや子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進するとともに、一人ひとりの学びを最大限に引き出す教育施策の充実・強化と学習環境の向上など、社会全体で子育てや子どもの育ちを支える包摂的なまちづくりを目指します。

#### 【数値目標】

	基準値	目標値
出生数	5,221人 (令和1～5年)	6,900人 (令和7～11年)
子育ての環境や支援への満足度	19.9% (令和5年度)	22.9% (令和11年度)

#### 【具体的な施策】

- ①若い世代の就労支援 ②結婚・出産支援
- ③子育て環境の充実 ④学校教育の充実と学校環境整備
- ⑤家庭・学校・地域の連携・協働促進

### 基本目標3 『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』

関連するSDGsのゴール



#### 【基本的方向】

- ・人口減少に歯止めをかけるためには、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることが重要です。
- ・市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、行政のみでなく市民自らが、地域のつながりを大切に、様々な人々が共生する魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治に住み続けたい思いへとつなげ、定住の促進を図ります。

#### 【数値目標】

	基準値	目標値
市民の宇治への愛着度	69.0% (令和5年度)	75.0% (令和11年度)
社会増減数	-63人 (令和5年)	0人 (令和11年)

#### 【具体的な施策】

- ①地域コミュニティの活性化 ②多様な主体の共生社会づくり
- ③健康づくりの推進

### 基本目標4 『活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出』

関連するSDGsのゴール



#### 【基本的方向】

- ・若年層の定住促進のためには、近隣での多様な働く場の創出が重要であり、市内産業への支援を実施することにより、市域内雇用の創出と拡充を促進するとともに、若者の雇用や起業に対する支援を行う必要があります。
- ・市内産業が持続的に成長、発展するまちの実現に向け、市内産業の成長支援や事業者間の連携促進、新たな産業の創出に向けた起業支援などに取り組むことにより、市民や地域生活を支える地域経済の活性化を目指します。

#### 【数値目標】

	基準値	目標値
市内事業所数	5,126事業所 (令和3年度)	5,126事業所 (令和11年度)
市内従業者数	54,266人 (令和3年度)	54,266人 (令和11年度)

#### 【具体的な施策】

- ①市内企業の成長支援 ②事業者間や産学等の交流・連携の強化
- ③新たな産業の創出と産業基盤の整備 ④人材確保と勤労者支援

### 基本目標5 『未来を拓く都市基盤の整備』

関連するSDGsのゴール



#### 【基本的方向】

- ・市外から通勤・通学、観光など様々な目的で本市を訪れる人（滞在人口）を増やし、地域経済の発展を支えるため魅力的な景観の保全や広域的な道路ネットワークの強化に取り組めます。
- ・また、市民生活の利便性や安全性の向上に向けた既存公共交通の維持や新たな移動二ーズへの対応、駅や周辺道路のバリアフリー化の推進など、未来の宇治の発展につながる都市基盤整備により、まちの活性化を図ります。

#### 【数値目標】

	基準値	目標値
滞在人口率	0.86倍 (令和5年)	0.93倍 (令和11年)
昼夜間人口比率	87.8% (令和2年)	90.0% (令和7年)

#### 【具体的な施策】

- ①地域の活性化につながる整備 ②移動しやすい交通環境の充実
- ③文化遺産・景観の保護